



奥貫 友山翁

大水記 (寛保の大水害を記録)

秩父 18メートル、行田 7.4メートル

銀座 7メートルの水位上昇

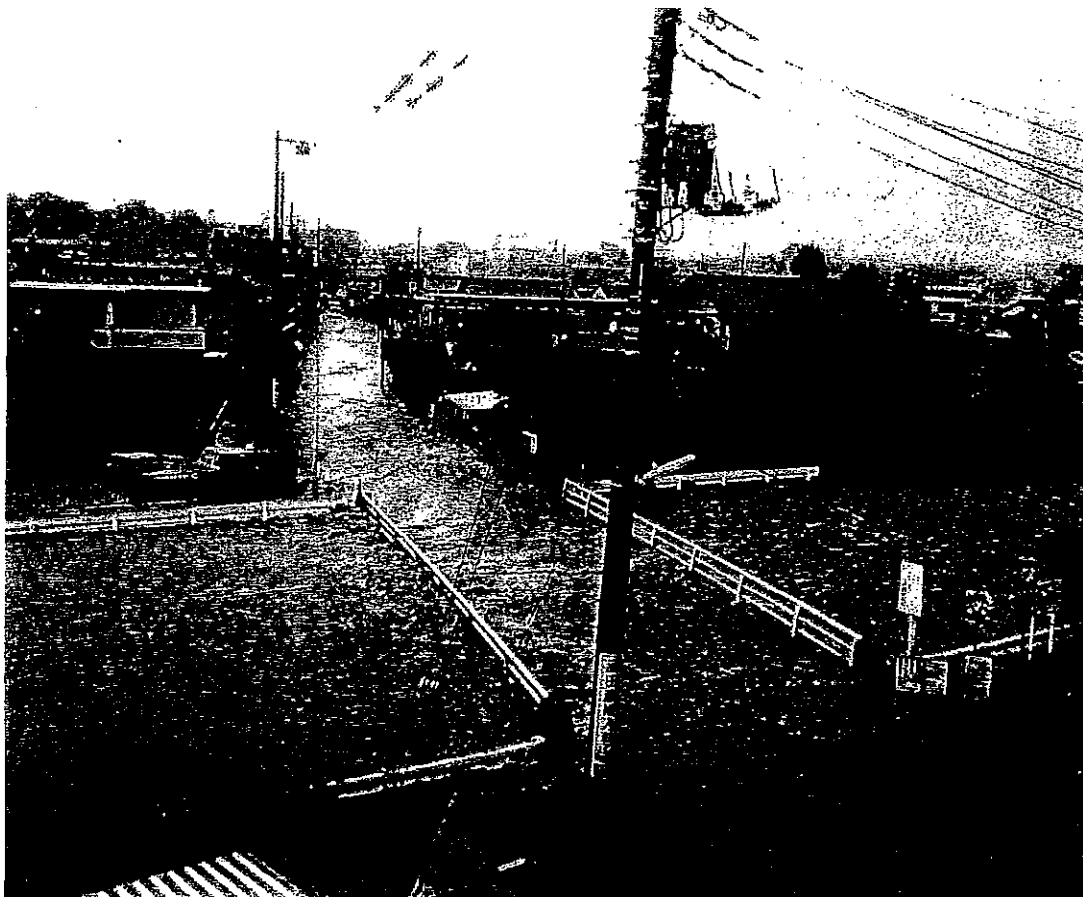
10万人を越す被災農民を救う

日本人の半分は氾濫原に住む

日本の洪水は
人間の住むところより高いところを流れる



台風5号集中豪雨により不老川氾濫



1日降雨量

130mm

($\frac{1}{300}$ 年)

岸町2丁目 床上床下浸水家屋 甚百余棟 平成10年8月28日(金) 午前6時32分頃

系次階



大川翁の遺志を果せし地区民は其の功徳に即償け

永之に傳ふ小田子の本懐これに過さるもつなし、

治水事業の如く効果よく判るる事業は少なき

業に弟考不窮、永遠の業あり有能の事だ

治水事業より取らば四十五年も経過す願はば永

大川翁の激勵なれば或は諦めたかもし知れぬ、

翁の先見の明あり、水で苦む全く無念、後又ハ大

川も作り、農業用水使用と洪水防止に務むべきを

と力説す、當時我を以て空想と思ふるか、今日ニ漸

くムリに完成翁の意見は實現し、全く偉人で

あつた、且令誠實が本馬し、るるに依りて指定は多

くもる、亦か議員で、世に此は實現し、存かつたう、